

様式第 3

身体障害者診断書・意見書(呼吸器機能障害用)

総括表

氏 名	大正 昭和 平成 令和	年 月 日生 () 歳	男 女
住 所			
① 障害名 (部位を明記)			
② 原因となった 疾病・外傷名		交通、労災、その他の事故、戦傷、戦災、 自然災害、疾病、先天性、その他 ()	
③ 疾病・外傷発生年月日 年 月 日 ・場 所			
④ 参考となる経過・現症 (レントゲン及び検査所見を含む。)			
障害固定又は障害確定 (推定) 年 月 日			
⑤ 総合所見			
〔 将来再認定 要 ・ 不要 〕 〔 再認定の時期 年 月 〕			
⑥ その他参考となる合併症状			
上記のとおり診断する。併せて以下の意見を付す。 年 月 日 病院又は診療所の名称 所 在 地 診療担当科名 科 医師氏名 (自署又は記名押印)			
身体障害者福祉法第 15 条第 3 項の意見 [障害程度等級についても参考意見を記入] 障害の程度は、身体障害者福祉法別表に掲げる障害に ・該当する (級相当) ・該当しない			
注 意 1 障害名には現在起こっている障害、呼吸器機能障害を記入し、原因となった疾病には、肺結核、肺気腫、間質性肺炎等原因となった疾患名を記入してください。 2 障害区分や等級決定のため、地方社会福祉審議会から改めて次項以降の部分について、お問い合わせする場合があります。			

(該当するものを○でかこむこと)

1 身体計測

身長 cm 体重 kg

2 活動能力の程度

- ア 激しい運動をした時だけ息切れがある。
 イ 平坦な道を早足で歩く、あるいは緩やかな上り坂を歩く時に息切れがある。
 ウ 息切れがあるので、同年代の人より平坦な道を歩くのが遅い、あるいは平坦な道を自分のペースで歩いている時、息切れのために立ち止まることがある。
 エ 平坦な道を約 100m、あるいは数分歩くと息切れのために立ち止まる。
 オ 息切れがひどく家から出られない、あるいは衣服の着替えをする時にも息切れがある。

3 胸部エックス線写真所見 (年 月 日)

- ア 胸膜癒着 (無 ・ 軽度 ・ 中等度 ・ 高度)
 イ 気腫化 (無 ・ 軽度 ・ 中等度 ・ 高度)
 ウ 線維化 (無 ・ 軽度 ・ 中等度 ・ 高度)
 エ 不透明肺 (無 ・ 軽度 ・ 中等度 ・ 高度)
 オ 胸郭変形 (無 ・ 軽度 ・ 中等度 ・ 高度)
 カ 心・縦隔の変形 (無 ・ 軽度 ・ 中等度 ・ 高度)



4 換気機能 (年 月 日)

- ア 予測肺活量 . L (実測肺活量 . L)
 イ 1 秒 量 . L (実測努力肺活量 . L)
 ウ 予測肺活量 1 秒率 . % $\left[= \frac{イ}{ア} \times 100 \right]$

(アについては、下記の予測式を使用して算出すること。)

肺活量予測式 (L)

男性 $0.045 \times \text{身長(cm)} - 0.023 \times \text{年齢(歳)} - 2.258$

女性 $0.032 \times \text{身長(cm)} - 0.018 \times \text{年齢(歳)} - 1.178$

(予測式の適応年齢は男性 18-91 歳、女性 18-95 歳であり、適応年齢範囲外の症例には使用しないこと。)

5 動脈血ガス(酸素吸入 無・有・・・ L/分吸入下・ 年 月 日)

※酸素吸入無しの検査が不可能な場合〔理由： 〕

ア O₂ 分圧： . Torr

イ CO₂分圧： . Torr

ウ pH : .

エ 採血より分析までに時間を要した場合 時間 分

オ 耳朶血を用いた場合：〔 〕

6 経皮的動脈血酸素飽和度

(酸素吸入 無・有・・・ L/分吸入下・ 年 月 日)

ア 安静時 S p O₂ : %

イ 労作時 S p O₂ : % …… 労作条件

〔 〕

7 その他の臨床所見

〔 〕